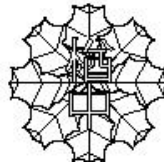


檜原中だより



令和8年7月14日

八王子市立檜原中学校

校長 深瀬 健志

<令和8年度7月号>



【教育目標】

- 深く考え自ら学ぶ生徒 (知)
- 思いやりのある心豊かな生徒 (徳) <自他にやさしく> (重点)
- 健康でねばり強い生徒 (体)

集団として個人として成長を続けた1学期

校長 深瀬 健志

今年度は久しぶりに、本格的な梅雨となりました。東京では観測史上3番目の降水量を記録し、昨年より平均気温が3℃以上低い状況でした。しかし、先週末からは連日30℃を超えるような日が続くようになり、いよいよ本格的な『夏』が感じられるようになりました。学校では、WBGTを測定しながら体育の授業や部活動などを実施しています。夏休みが目前ですが、ご家庭でも体調管理にご注意いただきたいと思います。

2年生は7月1日から3日間の職場体験を実施しました。3年生は、7月7日からの2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。自分の目で見たものや体験したことは、紙上で学んだことよりも多くの情報があり、一人ひとりの財産になります。2年生・3年生が、経験を通して学んだこと、感じたことなど心に刻み、社会への第一歩となることを願っています。

今年は7月23日から8月27日までが『夏休み』になります。ご家庭で協力し、それぞれが自分を磨き、高めるような有意義な夏を過ごすことができるといいですね。

6月26日(金) セーフティー教室 「レイの失踪」

今年度のセーフティー教室では、生徒各自のChromebookを活用し、「闇バイト」の実態を疑似体験するゲーム型プログラムを実施しました。使用した「レイの失踪」は、慶應義塾大学発の「Classroom Adventure」が開発した教育プログラムです。生徒たちはプログラム内の謎解きを進めることで、SNSに潜む闇バイトの危険性を身近な問題として学ぶことができました。

今後も、携帯電話やスマートフォンを利用する際のマナーや危険性について理解を深め、正しく安全に、そして責任を持って活用できるよう指導を進めてまいります。なお、今回のプログラムを実施するにあたり、檜原中PTAよりご支援をいただきましたことを御礼申し上げます。



生徒の感想を一部ご紹介します

- 今までも闇バイトの危険性などについて学ぶ機会があり、闇バイトについて大体知っていると思っていましたが、今回の体験でより闇バイトの危険性について学ぶことが出来ました。
- SNSを使うときに何も考えずにやるのではなく、考えてから使うことや、怪しいものを見て、誰かが巻き込まれてしまいそうだったら今回のように#9110にかけることなどです。
- 犯人を探すまでの途中で会社名やその会社が存在するかなど、をしっかりと確認しなければならないし、有名なバイト求人サイトでも、闇バイトがあることを知ることができました。
- 普段あまりネットに配信することはないですが、今後発信するときやバイトを探すときに活かしたい。検索サイトでも、常に怪しむことを意識して使いたいです。
- SNSになにか投稿するときは、狙われやすいような投稿をしない。個人情報が見えるような投稿をしない。狙われても引かからないようにする。

6月26日(金) 檜原中グループ 小中合同学校運営協議会

檜原中グループ(陶鎔小学校・檜原小学校・檜原中学校)学校運営協議会委員の皆様のご協力のもと、小中合同学校運営協議会を実施しました。当日は、セーフティー教室の授業を参観した後、「子供たちのSNS等の利用について」をテーマに意見交換会を行いました。協議会では、委員の皆様から多くのご意見やご感想をいただき、今後の小中連携や安全教育の充実に向けて大変有意義な時間となりました。

第2学年 職場体験 7/1～3

2年生は、ご協力いただいた40カ所の事業所に分かれて3日間の職場体験を行いました。現場での実習を通して多くの学びを得ることができました。



第3学年 修学旅行 7/7～9 京都・奈良方面

歴史的な建造物を訪れ、体感することで気づくことが多くありました。また、皆で協力して行動したことで大きく成長できました。



第5回 はちおうじっ子サミットに向けて

7月29日(水)に開催される「第5回 はちおうじっ子サミット」に向けて、檜原中学校では準備を進めています。「はちおうじっ子サミット」は、八王子市立学校の児童・生徒代表が一堂に会し、いじめの未然防止に向けた取組を発表し、互いに学び合う場です。本校は、陶鎔小学校・檜原小学校と連携し、檜原中グループとして参加します。地域の学校が力を合わせ、子どもたち自身が主体となって安全で安心な学校づくりを進めていくことを目指しています。

《檜原中グループ(檜原中・陶鎔小・檜原小)》
＜いじめ防止の取組 成果と課題＞

- 「素敵な出来事 BOX」や「ハッピーBOX」を設置したことで、人のことを考えるいい機会になり、思いやりの気持ちを広げることができた。
- 実施する期間の短さや、エピソードの紹介回数など、もっと活動全体が盛り上がる工夫が必要。



生徒会・児童会のオンライン会議の様子

不登校をテーマとした保護者サロンについて

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

- 1.対 象 市内在住で小・中学生の保護者
- 2.日 時 8月24日(月) 午前10時から午後12時30分
- 3.会 場 八王子市若者総合相談センター(八王子市東町3-10 山善ビル4階)
- 4.内 容 講演「不登校の子どもたちの義務教育終了後の進路」
講師 八王子市スクールソーシャルワーカー
- 5.定 員 40名(先着順)
- 6.受付開始日 令和8年 8月1日(土) 右の2次元コードからお申し込みください。
<https://logoform.jp/form/iapr/1667983>
- 7.問合せ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当電話:663-3216
- 8.その他 会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
共催 学校教育部教育指導課／子ども家庭部青少年若者課(八王子市若者総合相談センター)

